

【公報種別】実用新案法第14条の2の規定による訂正明細書等の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【登録番号】実用新案登録第3198778号(U3198778)

【訂正の登録日】平成29年1月23日(2017.1.23)

【登録公報発行日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【出願番号】実願2015-2274(U2015-2274)

【国際特許分類】

A 4 1 D 13/002 (2006.01)

A 4 1 D 13/00 (2006.01)

F 0 4 D 25/08 (2006.01)

【F I】

A 4 1 D 13/002 1 0 5

A 4 1 D 13/00 1 0 5

F 0 4 D 25/08 Z

【訂正書】

【提出日】平成29年1月10日(2017.1.10)

【訂正の目的】実用新案登録請求の範囲の減縮等

【訂正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

削除

【請求項2】

空調服の一部に設けられた開口部と、この開口部に臨んで配設したファンと、前記ファンを駆動するモータと、前記モータを駆動する携帯可能な電源と備え、

前記ファンを駆動することにより、外気を空調服内に取り入れ、袖口或いは首周りから排出する空調服であって、

前記空調服の背中部分に命綱取出し用の先端の開口した取出し筒を設け、

前記取出し筒は、筒部先端近傍に口紐が設けられており、前記口紐により取出し筒から引き出した命綱の周囲を緊縛して、取出し筒の開口部を密閉することを特徴とするハーネス型安全帯の着用可能な空調服。

【請求項3】

空調服の一部に設けられた開口部と、この開口部に臨んで配設したファンと、前記ファンを駆動するモータと、前記モータを駆動する携帯可能な電源と備え、

前記ファンを駆動することにより、外気を空調服内に取り入れ、袖口或いは首周りから排出する空調服であって、

前記空調服の背中部分に命綱取出し用の先端の開口した取出し筒を設け、

前記取出し筒は、筒部先端近傍に口紐が設けられており、前記口紐により取出し筒から引き出した命綱の周囲を緊縛して、取出し筒の開口部を密閉し、

前記取出し筒の周囲には、非使用時に取出し筒を収納可能な収納片が設けられたことを特徴とするハーネス型安全帯の着用可能な空調服。

【請求項4】

空調服の一部に設けられた開口部と、この開口部に臨んで配設したファンと、前記ファンを駆動するモータと、前記モータを駆動する携帯可能な電源と備え、

前記ファンを駆動することにより、外気を空調服内に取り入れ、袖口或いは首周りから排出する空調服であって、

前記空調服の背中部分に命綱取出し用の先端の開口した取出し筒を設け、

前記取出し筒は、筒部先端近傍に口紐が設けられており、前記口紐により取出し筒から

引き出した命綱の周囲を緊縛して、取出し筒の開口部を密閉し、

前記取出し筒の周囲には、非使用時に取出し筒を収納可能な収納片が設けられ、

前記収納片は、面ファスナーにより空調服本体に対して開閉可能であることを特徴とするハーネス型安全帯の着用可能な空調服。